

## はしがき

国立国会図書館調査及び立法考査局では、重要な国政課題について各分野の調査担当職員がプロジェクト・チームを編成し、分野横断的に調査・分析を行う総合調査を実施しております。平成23年・24年におきましては、「技術と文化による日本の再生—インフラ、コンテンツ等の海外展開—」をテーマに、取組みを進めて参りました。

総合調査につきましては、その一環として、毎年、海外から専門家を招聘する「国際政策セミナー」を開催しています。このセミナーは、国会議員や秘書の方々にもご参加いただき、海外の専門家との意見交換の場ともなっているものです。本年は、「世界経済の動向と日本の成長戦略—東日本大震災後の課題—」と題して、1月に実施いたしました。この報告書は、その概要を取りまとめたものです。

セミナーでは、スイスから国際経済学者のリチャード・ボールドウィン氏（ジュネーブ高等国際問題・開発研究所教授）を招聘し、21世紀における国際的な経済連携の在り方とその中での我が国のポジション等について、有益な示唆を多く含む基調講演を行っていただきました。また、ボールドウィン氏のほか、この分野における国内の専門家を交えてパネルディスカッションも実施いたしました。

東日本大震災は、我が国に甚大な人的・物的被害をもたらしました。また将来にわたって、日本経済全体に深刻な影響を及ぼすことがいまだに懸念されております。インフラ、コンテンツ等の輸出を成長戦略の柱に据え、高い技術力、ノウハウ、文化的創造性を武器に世界経済で存在感を示そうとしてきた我が国が、ますますこの本格的な展開を迫られているとも言えるでしょう。

この報告書が、今後の我が国の経済的な進路の選択と成長戦略の在り方について、国政審議の参考となることを願っております。また、この総合調査の最終報告書も併せて刊行しておりますので、そちらもぜひご高覧賜れば幸いです。

平成24年 9月

調査及び立法考査局長 山口 広文